



THE GEIDAI
PHILHARMONIA ORCHESTRA,
TOKYO

藝大フィル、 2023年 新たな地平へ...

藝大^{フィルハーモニア}管弦楽団 定期演奏会

オール・ベートーヴェン・プログラム
(指揮者なし)

12のコントルダンス WoO 14

12 Contretänze Es-Dur WoO 14

ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.61 (独奏：漆原朝子)

Konzert für Violine und Orchester D-Dur op.61

交響曲第5番 ハ短調 《運命》 op.67

Sinfonie Nr.5 c-moll op.67

2023. 4. 20 木

19時開演 (18:15開場)

※就学前のお子様の同伴・入場はできませんので、ご了承ください。

※車椅子をご利用のお客様は、ヴォートル・チケットセンター TEL:03-5355-1280(平日10時～18時)までお問い合わせください。

東京藝術大学奏楽堂 [大学構内]

チケット発売中 全席指定 4,000円 ※当日券の販売はございません。

| お問い合わせ |

東京藝術大学演奏芸術センター TEL: 050-5525-2300
東京藝術大学ホームページ <https://www.geidai.ac.jp>

| 主催 |

東京藝術大学音楽学部・東京藝術大学演奏芸術センター

| チケット取り扱い |

ヴォートル・チケットセンター
チケットぴあ
東京文化会館チケットサービス
イープラス(e+)
藝大アートプラザ(店頭販売のみ)

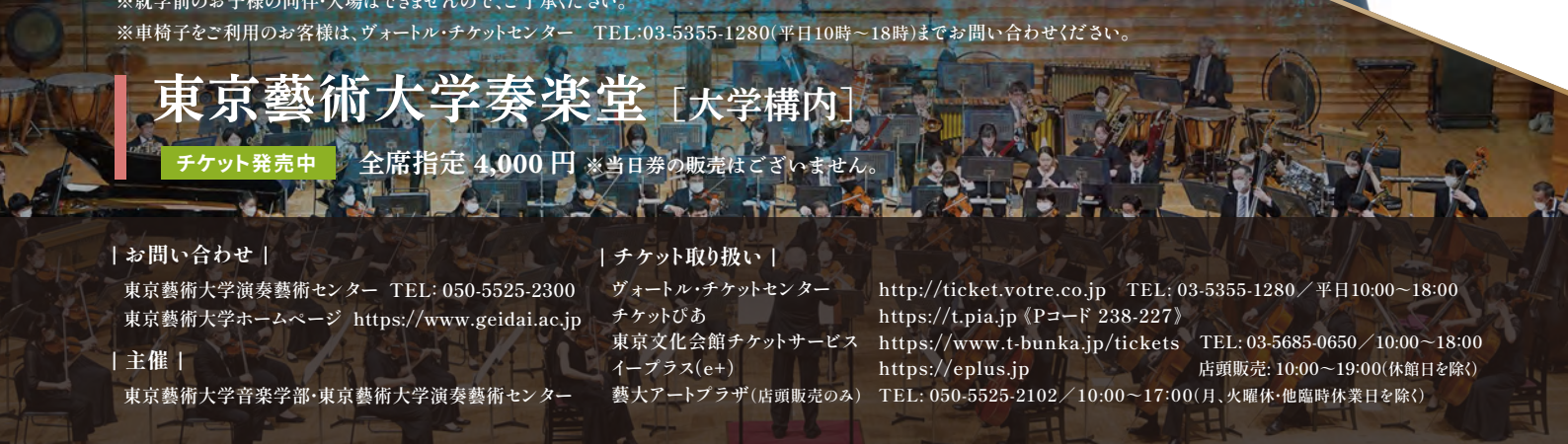
<http://ticket.votre.co.jp> TEL: 03-5355-1280 / 平日10:00～18:00
<https://t.pia.jp> (Pコード 238-227)
<https://www.t-bunka.jp/tickets> TEL: 03-5685-0650 / 10:00～18:00
<https://eplus.jp> 店頭販売: 10:00～19:00(休館日を除く)
TEL: 050-5525-2102 / 10:00～17:00(月、火曜休・他臨時休業日を除く)

コンサートマスター
植村太郎

Taro Uemura,
concertmaster

ヴァイオリン独奏
漆原朝子

Asako Urushihara,
solo violinist



藝大フィルハーモニア管弦楽団 定期演奏会

藝大フィルハーモニア管弦楽団は今回の演奏会において、指揮者を置かずにはベートーヴェンの作品に取り組むこととなりました。管楽器の室内楽から少しずつ広がり、巨大なオーケストラのアンサンブルに挑戦する初の試みとなります。

おそらくベートーヴェンの時代では、たくさんの演奏家が必要に応じ交響曲等を小さいアンサンブル版にアレンジし、指揮者無しの小編成メンバーによりサロン等で演奏をおこなってきたと考えられます。今回はオリジナルの編成を大人数アンサンブルにて演奏するという、まさしく一種のアドヴェンチュアともいえる世界が会場に現れます。そこにいる音楽家はあらゆる感覚が研ぎすまされた状態に豹変しますので、個々の奏者が持つ個性と魅力が存分に発揮されることは間違いございません。

いま「藝大フィル」が新しいページをひらく歴史的な瞬間に立ち会いませんか？これまでにない発見がひろがる奏楽堂にて、楽員一同、心よりお待ち申し上げております。

藝大フィルハーモニア管弦楽団運営委員長 日高剛

ヴァイオリン：漆原朝子

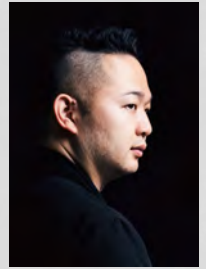
Violin : Asako Urushihara



東京藝大附属高在学中に日本国際音楽コンクールで最年少優勝。ジュリアード音楽院卒業。1988年NHK交響楽団定期公演、同年ニューヨークのリサイタルとそれぞれデビューを果たし絶賛される。マールボロ音楽祭ではR.ゼルキンに指名され共演、ザルツブルク等の音楽祭に多数出演し、内外のオーケストラとも数多く共演。シューマン没後150周年の2006年には大阪センチュリー交響楽団シューマン・ツィクルスに出演。また生誕200周年の2010年にはシューマン・プロのリサイタルを東京文化会館で行い、その模様がNHKで度々放送され多くの人々の反響を呼ぶ。巨匠B.スナイダーとは長年デュオを組み、中でもシューマン、ブラームス、シューベルトのヴァイオリンとピアノのための作品全曲演奏のレコーディングとコンサートツアーの評価は極めて高い。2012-13年には「ベートーヴェン：ヴァイオリンソナタ全曲ツィクルス」を行う。ライフワークのひとつ「エルガー：ヴァイオリン協奏曲」で英国人指揮者J.ウォルフと度々共演。2017年兵庫芸術文化センター管弦楽団定期公演での演奏はCD化され大きな話題に。平成26年度文化庁芸術祭レコード部門優秀賞受賞。現在、東京藝術大学教授、大阪音楽大学特任教授。

コンサートマスター：植村太郎

Concertmaster : Taro Uemura



三重県生まれ。桐朋学園大学、ハノーファー芸術大学、ジュネーヴ音楽院、ハンズ・アイスラー音楽大学ベルリン卒業。第74回日本音楽コンクール第1位。ヤング・ブラハ国際音楽祭に招かれ、チェコ各地で演奏した。東京フィル、名古屋フィル、東京交響楽団、セントラル愛知交響楽団、ブラハ交響楽団、ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団などと共演。室内楽にも積極的に取り組み、2004年にはジュピター弦楽四重奏団を結成し内外で活躍中。桐朋学園オーケストラのコンサートマスターを務め、水戸室内管弦楽団、宮崎国際音楽祭、PMF、小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト、サイトウキネンオーケストラにも参加。ヨーロッパから2017年完全帰国。現在、東京藝術大学准教授、藝大フィル ソロ・コンサートマスターを務め、また富山桐朋オーケストラアカデミーでも後進の指導にもあたる。使用楽器は、NPO法人イエロー・エンジェルより貸与のT.パレストリエリ(1760年)。

管弦楽：藝大フィルハーモニア管弦楽団 The Geidai Philharmonia Orchestra, Tokyo

藝大フィルハーモニア管弦楽団(2016年秋、藝大フィルハーモニアから改称)は東京藝術大学に所属するプロフェッショナル・オーケストラで、年2回の「定期演奏会」、声楽科との「合唱定期」、オペラ研究部との「オペラ定期」、「新卒業生紹介演奏会」のほか、年末恒例の「チャリティーコンサート・メサイア」(朝日新聞厚生文化事業団・朝日新聞社主催)、「台東第九公演」などを行っている。教育面では、器楽科・声楽科学生との協奏曲等の共演および作曲科学生作品披露を行っている「モーニング・コンサート」、指揮科学生との演奏会・試験・演習など、学生の演奏経験の拡充に資している。前身である東京音楽学校管弦楽団は、我が国初の本格的なオーケストラで、ベートーヴェンの《交響曲第5番「運命」》、《交響曲第9番「合唱付き」》、チャイコフスキーの《交響曲第6番「悲愴」》などに加え、ブルックナーの《交響曲第7番》と《交響曲第9番》を本邦初演し、日本の音楽界の礎石としての活動を果たしてきた。2017年6月には「日本・チリ修好120周年」を記念して、南米チリ公演(4公演)を行い、聴衆を魅了した。(公社)日本オーケストラ連盟準会員。

※スケジュール・曲目・出演者等は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、出演者・スタッフの体調管理、入場者の制限、換気強化等の対策に取り組んでおります。ご来場のお客様にも体調管理、手指消毒、マスク着用等にご協力をお願いいたします。なお、「37.5℃以上の発熱、咳・呼吸困難、体調に不安のある方」、「マスクを着用されない方」、その他対策にご協力いただけない場合は、主催者の判断により入場をお断りいたします。対応は今後変更される可能性がありますので、最新情報は藝大ホームページでご確認ください。

東京藝術大学奏楽堂 [大学構内]

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

交通のご案内

■JR上野駅(公園口)・鶯谷駅(南口)、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

■京成線京成上野駅、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅より徒歩15分

※駐車場はございませんので、お車のご来場はご遠慮ください。

